

— 第百拾号 —

(2010年秋号)

第6回秋の陶磁器まつり

しん窯青花秋のミニ市を開いて今年で29回目を迎えます。町内のイベントとして定着して今年で6回目。

去年までは、文化の日(11月3日)を意識してやきもの文化を発信しようと、コンサートや文化教室など多種多彩なイベントを開催してきました。その中で、初回の社内文化祭は忘れる事ができません。50人の職人さんは手技が本職だけに、趣味の分野も玄人はだし揃いでした。書あり、パッチワークあり、写真あり、まるでミニ有田町文化祭さながらで、普段の顔と違った様々な表情を作品から垣間見る事ができました。

今年は、町内の秋の陶磁器まつりの日程に合わせて、11月20日(土)～24日(水)まで開きます。

今年、町内の秋の陶磁器まつりの日程に合わせて、11月20日(土)～24日(水)まで開きます。

近くの黒牟田・応法窯元まつりでは、器をお持ち帰りできる食彩弁当が人気のようです。また、隣の源右エ門窯では、秋陶祭と銘打って新しい古伊万里の心に触れる事ができるかもしれません。有田焼卸団地(陶磁の里プラザ)では、匠の蔵シリーズ第6弾が発表されます。

秋のイベントの仕掛け人として恥ずかしくない新商品とおもてなしを用意しなくてはと、職人さん達全員で知恵を出しあっています。

ただし、やっぱり1日(月)～3日(祝)はしん窯のミニ市として予定を組んでいますとおっしゃるお客様のために、感謝祭としてご奉仕させていただきます。1日(月)～3日(祝)も、20日(土)～24日(水)も、お誘い合わせの上お出かけ下さい。

また、11月13日(土)は、早朝6時から夜12時まで丸一日かけて久しぶりに登り窯たきを行います。そして11月20日(土)は登り窯窯出しを開きます。興味のある方は、どちらもお遊びに来て下さい。炎を眺めながら秋の夜長を過ごしましょう。期間中、九陶では「オランダ絵伊万里」展が開かれたり、歴民の紅葉や泉山の大きいちやうのライトアップも人気スポットです。



今回の新商品

しん窯と香蘭社

しん窯は今年180年を迎えます。

一方、香蘭社130年史が2008（平成20）年7月に刊行され、その歩みをつぶさに知る事ができます。宮内庁御用達窯としても有名ですが、常に有田焼の中心にあって、有田焼産業の発展と共に歩んできたと言っても過言ではありません。当時、香蘭社としん窯は役割分担して、万博出品のために協力して傑作を作っていました。

有田は、柿右エ門様式・鍋島様式・古伊万里様式という三様式で語られる事が多いのですが、明治時代、パリ万博やウィーン万博をはじめ世界各国で開かれた世界万国博覧会へ佐賀藩より出品を促され、有田焼の代表としてすべてに出品し、金賞を獲得していた事は、明治万博有田様式が確立していたと言っても過言ではありません。

その香蘭社様から、東京銀座店リニューアルに際して有田や佐賀や日本の伝統文化を発信しましょう、というありがたいお話をいただきました。深川紀幸社長の懐の深い思いに感謝をすると共に、かつてしん窯が染付までを担当し、赤絵加工を香蘭社様にお願ひし、いわゆる当時も分業化が確立しており、良い窯同士のコラボレーションが盛んに行われていたのでしょうか。時は流れて、明治・大正・昭和・平成と4つの時代が過ぎましたが、100年以上たって再び香蘭社様と一緒に仕事ができ、花の銀座からやきもの発信ができるという事実と直面し、興奮をおさえる事ができません。

今回は、橋口が実演をしたり、香蘭社様の素敵な皿に四季の花をデザインさせていただくなど、世界でひとつの皿に果敢に挑戦しております。関東地区にお住まいのお客様へ是非新しい有田の風を感じるために香蘭社銀座店へご来場して下さい幸いです。

香蘭社東京銀座ショールーム

（〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-20）

Tel 03-3543-0951

Fax 03-3545-4336

<http://www.koransha.co.jp>

しん窯と香蘭社が100年前のように時を超えて現代の美を追求する機会に恵まれて、ありがたいと思い感謝をせずにはおれません。



しん窯×香蘭社 世界にひとつ ー描く楽しさー

会 期 10月10日（日）～17日（日）
（10：00～18：30）

会 場 香蘭社東京銀座ショールーム

期間中、橋口と小島が会場に常駐しております。

梶原城右エ門二代？

秋分の日にお寺におまいりに行きました。梶原家は龍泉寺に守られています。龍泉寺といえば、陶祖李参平が過去帳に月窓浄心上白川・・・明暦元年（1655）乙未八月十一日と記してあります。

有田焼を語る時、陶祖李参平なしには語れません。元和二年（1616）韓国人陶工李参平が泉山で白磁鉢を発見してから日本で初めて磁器が焼かれました、というくだりから有田物語が始まります。

その龍泉寺で梶原家過去帳に慶応三卯年（1867）七月二十九日、阿讃道性居士城右エ門とありました。数年前利左エ門の存在を発見しましたので驚いていましたが、城右エ門の先代だと分かりました。生前親父が城右エ門の事を言っていましたが、他人事のようにでした。今親父と同じ年齢になって、私達のルーツに少し関心が出てきました。もっと過去帳をひもとくと、400年前の梶原家のルーツが明らかになるでしょう。お彼岸の日にもまたゆっくり思い出してみたいと思います。

今日から私は7代目から8代目になります。

私の交遊抄

お盆入りの8月13日（金）日経新聞交遊抄に、学生時代にレポートやテストで大変お世話になった大林秀仁君（日立ハイテクノロジーズ社長）が載っていました。

大林君は私の前の席順でしたので、実験やグループ授業の時はいつも一緒でした。私は塩酸の中に水を入れるようなおっちょこちょいでしたので、グループの視線は冷たく、登校拒否的の学生でした。しかし、なぜか修了証書をいただきましたので、ひとえに大林君のおかげといっても過言ではありません。その彼が交遊抄に載っていたので、また友人自慢ができます。

今夏の初めに奥様と一緒にカナダへ授与式のため出かけました。2010年6月19日号の福井新聞記事から抜粋して、私の自慢の友の紹介をさせていただきます。

—世界的権威 米電気電子学会が評価—

電気工学分野の研究開発でリーダー的な役割を果たした個人に贈られるIEEE（米国電気電子学会）の「2010 IEEE エルンスト・ウェーバー・エンジニアリング・リーダーシップ賞」を日立ハイテクノロジーズ（本社東京）の大林秀仁社長（66）＝福井市出身＝が受賞した。同社によると、日本人が同賞を受賞するのは初めて。

お客さまの励まし

売れない売れないと嘆いてばかりいましたが、お客様から嬉しいメールや励ましのお手紙をいただきました。お許しを得ましたので、一部ご紹介します。

(S・O 様より)

しん窯 橋口さま

有田の暑さは予想を超えますが、こちら暑さが厳しく、外にでるのも命がけです。焼きものをされるかたはそれこそ想像を絶する厳しさなのでしょうね。私は学校が県立なのであまりクーラーをいれてもらえないため、わりとからだ暑さに慣れているのですが、主人は一日クーラーづけで、先日動物園にでかけたところ、ダウンしていました。

自宅工事の方も暑さ厳しく大変そうですが、どうやら工事が遅れがちで今年いっぱいはいはかかりそうです。建築に時間がかかるとあれこれと変更してしまい、春のころと多少かわってしまっているところがありますので、8月中には正式に注文書をお出しします。(ただいま形、柄、スイッチ数の確認をしています)今のところ、梅の柄、トンボの柄、千鳥の柄などおねがいしようと考えていますが、今回の松がとてもきれいなので、少し迷っています。もう少しだけお時間をください。

スイッチプレートの見本もお借りしたままですみません。

それからもうひとつお願いがあるのです。実は、先日東京で松竹梅のお皿を購入したのですが、数年前ボウルとセットで松竹梅3組を買いました。東京ではボウルがなかったのでお皿のみ買いましたが、ボウルを購入することはできますでしょうか。今、皿が松2枚、竹2枚、梅2枚、ボウルが松1個、竹1個、梅1個の状況です。このセットはとても使い勝手がよいので、重宝しています。家族が多いので、それぞれ3組ずつ、松のセット梅のセット竹のセット3組(皿9枚、ボウル9個)にしたいのですが、不足分を購入したいと思っています。スイッチプレートを送っていただく際に一緒に送っていただけませんかでしょうか。

ご迷惑をおかけします。どうぞよろしくおねがいたします。

これからの有田へしん窯へ

有田再生や有田活性化や有田町総合経済対策会議などが連日声高に叫ばれています。提言される事項はどれも似たりよったりです。私個人として6本柱を考えてみました。

- | | |
|--------------|----------|
| ①輸出 | ④異業種交流 |
| ②観光 | ⑤流通変革 |
| ③トップ(首長)セールス | ⑥ネットショップ |

いずれも販売なくして生産なしという理念を共有して、売るために手段を選ばずではなくて、付加価値創造のために衆知を集めて、有田焼を売るための手段として6本柱を考えてみました。あとは具体的に誰がどのようにして動いていくかにつきます。他人事ではなくて今日から動いていきます。